

普及活動情勢報告

(各月の普及の動き毎月25日までに報告)

普及活動情勢報告（平成25年6月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

情勢報告

中央東地区農村女性リーダーが南国市で交流しました



高知大学で講義を受ける女性リーダー

5月19日、香南市、香美市、南国市の農村女性リーダー21名が参加し、「そよかぜウォッチング in 南国」と題した交流会を開催しました。当日は、南国市十市の施設野菜栽培を視察した後、高知大学農学部で土壌や森林害獣について講義を受けました。

参加した多くの女性リーダーからは、「高知大学が身近に感じられた」との感想があり、これを機会に大学との交流を含めた活動を考えていくことになりました。

農業改良普及課は、今後も農村女性リーダーの計画作成や会の運営、課題解決能力の向上を支援していきます。

ニラ生産研究会の現地検討会



ニラ品種比較ほ場での検討

5月27日、JA土佐香美ニラ部会ニラ生産研究会の現地検討会が開催されました。

新規就農者2名を含む生産者20名が参加し、電照栽培や品種比較など新たな取り組みの結果と今年度の試験計画を報告しました。

参加者からは、「私も肥料試験を実施したい」との声が上がり、事例数が増えることで、効率的な実証ができるようになりました。

農業改良普及課は、実証ほの設置や調査について支援していきます。

ソラマメの収穫体験（大宮小学校）



ソラマメをさやから取り出している

6月3日、香美市大宮小学校の2年生を対象に、谷相地区集落営農組合直販部会実証ほでソラマメの収穫、さや取り体験を開催しました。

農業改良普及課は道徳教育の成果があがるよう、先生と実施計画を作成しました。

子供達からは、「私達が植えたソラマメが大きくなっていてびっくりした」「本で見たようにマメが仲良く並んでいた」という反応がありました。

直販部会員は、「また谷相にきてね」と、子ども達との交流を喜んでいました。

農業改良普及課は、学校給食向け野菜の栽培を通じた食育活動を支援していきます。

第17回米づくり親子セミナーを開催



田植えをしている児童達

6月11日、南国市の食育活動の一環として、南国市上倉にある「梅星館」及び学習田で、大湊・日章小学校4年生56名とその保護者、農家や各関係機関による第17回米づくり親子セミナー（田植え）が開催されました。

農業改良普及課は、水稻の生育と南国市のお米について紹介し、児童からの質問や疑問に答えました。

児童からは「お米の種類はどれくらいあるのですか？」等様々な声がありました。

農業改良普及課では、今後も親子セミナー（収穫）や親子セミナー感謝祭でお米の話や年間消費量を紹介することで、南国市の学校給食米の栽培を通じた食育活動を支援していきます。